

News Letter

地域がん診療連携拠点病院
に指定されました

平成24年4月1日より、厚生労働省による「地域がん診療連携拠点病院」に当院が指定を受けました。県内では、高知医療センター、高知赤十字病院に続く3か所目の指定で、中央医療圏以外では初めての指定となります。

地域がん診療連携拠点病院とは、わが国に多い胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん等について地域全体におけるがん医療水準の向上を図るために、専門的な治療はもとより、地域におけるがん診療連携を推進し、質の高いがん医療ができる病院として国から指定をうけるものです。

今後、当院では、地域におけるがん診療の中核病院として、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制、がんと診断された時からの緩和ケアの推進、がん患者さんに対する相談支援及び情報提供などの

充実をさらに図り、幅広い地域の住民の皆様に安心していただけたがん医療を提供していくことを考えております。

糖尿病教室開催のこころ

5月と6月に糖尿病教室が開催されます。糖尿病教室は4回の授業を2ヶ月間の隔週で開催しています。当院で実際に糖尿病治療に携わるスタッフが授業を行いますので日々疑問に思っていることなどを質問することができます。

また、家庭で作れる糖尿病食など療養生活で翌日から実践できる内容となっています。ご近所さんなどを御説明の上ふるつてご参加ください。

第二回 平成24年5月26日(土)

AM 10時半～12時半
(参加費 600円)

「糖尿病の薬について」「あなたの飲んでるサプリ、ほんとに大丈夫?」
薬剤師 宮村 憲明

「糖尿病の食事」3つの基本を
知ろう!」

栄養士 井上 那奈

第三回 平成24年6月9日(土)

AM 10時半～12時半
(参加費無料)

「シックディって何?」こんな時あなたはどうする?」

糖尿病療養指導士 和田 望

「糖尿病の基礎知識」

内科部長 岡村 浩司

「糖尿病患者のフットケア
(足のお手入れ)」

「あなたの足、大丈夫?」
糖尿病療養指導士 田中 千明

「実際に血糖値を測ってみよ

う」

臨床検査技師

野町 真由
川窪 美乃莉

第四回 平成24年6月23日 (土)

A M 10時半～12時半

(参加費 600円)

「室内でも出来る運動療法」

理学療法士 今橋 一幸

「外食・お惣菜を上手に選んで
みましょう」

栄養士 井上 那奈

a p r o f e s s i o n 専門職



医局 外科 沖 豊和 先生

医局 内科 藤原 健史 先生



第四回 平成24年6月23日 (土)

A M 10時半～12時半

(参加費 600円)

【質問事項】
a p r o f e s s i o n 専
門職』は院内で働くスタッフ
を取り上げ、その人の担当業務
や仕事に対する思いを紹介して
います。

今月は、4月から当院に新し
く来られた4名の先生方を紹介
します。

A1 野球、車、ギター

A1 旅行、美味しいものを食べ
ること。

A2 消化器か循環器で悩んだが、

研修してみて消化器が合っ
ていると思った。家庭の事
情により外科に。

A2 多くの人と接することがで
き、役に立てると思ったか
ら。

[場所]
幡多けんみん病院会議室

[参加申込予約及び問合せ先]
幡多けんみん病院 内科外来

Q2 現在の職業を選択した理由
を教えてください。

Q3 業務を通じて、今まで最も
心に残っている出来事があれば
教えてください。

Q4 あなたの好きな言葉、人生
において指標としている言葉を
教えてください。

Q5 今後の抱負な広報誌の読者
へのメッセージをぜひ！



A3 今でこそ外科所属医師だが、
初期研修で離島の診療所に
勤務した1週間が一番心に
残っている。

A3 様々な職種の人と飲み仲間
になれたこと。

A4 WE can work
it out!

A4 不器用に 泥臭く しなや
かに したたかに

A5 少し事情の込み入った自己
紹介となりましたが、これ
からよろしくお願ひします。

A5 いろいろどこ迷惑をおかけ
すると思いますが、よろし
くお願いします。



義を与えてくださった一言でした。

Uターンのためにこの職業を選びました。

A4 これからゆっくり探してみます。

A1 趣味は、ドライブと旅行。特技は、無駄に多い雑学、道に迷わない。

A2 「これだけは誰にも負けない」というプロフェッショナルな職業に憧れ、これからを切り拓く言語聴覚士の仕事に魅力を感じたため。

理学療法士

公文 亮太 先生



A5 言語聴覚士としての役割と責任を自覚し、皆様のお力添えになれるようがんばります。よろしくお願ひします。

A3 訪問リハビリをしていた頃、なかなかハビリをして頂けない患者さまがいたのですが、その方が亡くなつた後、ご家族から実はリハビリの時間をすごく楽しみにしていましたことを報告されました。この仕事を選んで良かったと思える一瞬でした。

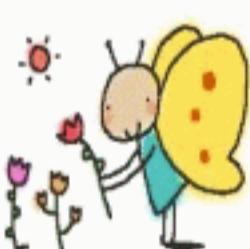
A4 時は金なり。（子供が生まれてからこの言葉を非常に重く感じます）

A5

病棟スタッフ以外のスタッフ、外来患者さん等はなかなかお話しする機会がないとは思いますが、顔を覚えていましたら声をかけてください。

A1 バドミントン、カラオケ、映画鑑賞

A3 「先生がいてくれてよかったです」とご家族やご本人からお声を掛けて頂いた時。未熟で僅かな援助しかできなかつた自分を恥じていた時。当時の私にとって、言語聴覚士として「治す」以外にもある『ただそこにあり続ける』ことの大切さを知り、寄り添い共にすることに意



A2 県外でサラリーマンをしていました頃、この職業を知り、

当院では、救急外来を受診される患者さんに對して、看護師によるトリアージを実施しています。

トリアージとは、患者さんの症状・状態から重症度・緊急性を判定することです。トリアージを実施することで、早急に治療が必要な患者さんに対しても速な医療の提供ができるようになります。

反面、比較的の症状が軽いと思われる方は、お待たせすることがあります。

適切な救急医療を提供していくため、ご理解のうえご協力を願います。

院内トリアージについて

福岡がん患者会
よつばの会

がん患者さんやその家族がお互いに親睦を深め、医療者との意見交換を行う場として、幡多がん患者会「よつばの会」（畠中廣・代表世話人）が3月25日、結成され、当院で初会合が開かれました。会合には、患者さんやご家族23名、医療者7名が参加し、参加者おひとりおひとりの身体の状態、心のありよう、さまざま思いを語り合いました。



次回、6月3日（日）午前10時より、当院大会議室で開催を予定しています。

幅多地域に居住されている方に限らず、また、治療を受けている医療機関を問わず、どなたでも参加できますので、気軽に是非ご参加下さい。

問い合わせは、当院医療相談室（代表TEL 0880-166-1222）へお願ひします。

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
 2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、お薬の内容が分かるもの（**薬剤情報提供書・お薬手帳など**）を持って行くようにしましょう！

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いない医療
 2. 十分に説明をする医療
 3. 透明性を大切にする医療
 4. 患者さんの希望を大切にする医療

3月の統計

外来患者数	12,387人
新外来患者数	1,832人
新入院患者数	497人
退院患者数	539人
平均在院日数	14.3日
救急車・時間外患者数	1,176人
手術件数	199件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
 2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
 3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
 4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
 5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。